

高次脳機能障害・就労支援 リハプログラム

丸 八 工 房

まる

はち

こう

ぼう

【開設の経緯】 当クリニックには若年の高次脳機能障害の診断を受けた方が多数通院されています。

「丸八工房」は高次脳機能障害のある方に対して

- ① より効果的な医学的・社会的・職業的リハビリテーションを提供する
- ② 他機関と連携し、就労を含めた社会参加への取り組みを実践する
- ③ 介護者である家族の負担を軽減するためのフォローアップを行う

ことを目的とし、平成 22 年 8 月より活動をスタートしました。

日時：毎週土曜 9:30～12:00

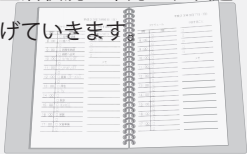
対象：当クリニックのリハ科受診
高次脳機能障害の診断あり
就労の意志がある 65 歳未満の方

運営：言語聴覚士 1 名 & 作業療法士 3 名



メモリーノート

記憶障害のある方に対する代償手段や自分自身の行動を振り返り、行動計画を立てるツールとしてメモリーノートを活用しています。1 週間の生活を報告することで、お互いの生活状況を確認し、次週への計画へとつなげていきます。



作業活動

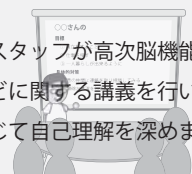
実際の職務へとつなげていくため、パソコンの入力や、事務作業など仕事に模した軽作業を行います。作業活動を通じて、自分の苦手な点を認識し、円滑に作業を行えるよう工夫や代償手段の使用方法を身につけます。



グループワーク

① 羅心版（集団問題解決セッション）
自己の問題点について考えた後に、達成可能な具体的目標の設定と目標達成のための解決策を討議します。

② 勉強会
リハスタッフが高次脳機能障害の症状などに関する講義を行い、話し合いを通じて自己理解を深めます。



- 【今後の展望】
- ① プログラムの充実化を図る
 - ② 実際に就労支援へと繋げるため他機関と連携を行う
 - ③ 家族支援プログラムの構築